

校章



〈意匠 意義〉

- ・ Aは、学校の頭文字。大雪山を模し、生徒がたくましく成長する姿を表している。山の左右のラインは、変化の激しい社会に出ても柔軟に対応できる「しなやかな心」と本校で学んだ力を根に据え、社会人として生きて働くために最後まで「やりぬく力」を表現。
- ・ Aの中の白抜き部分は街のシンボル旭橋。互いに行き来できる＝助け合う関係であることの象徴。
- ・ 円内の三本線は「石狩川」北の大地で清い心が育まれることを表現している。
- ・ 金色の二つの輪は、保護者と地域を表す。円から伸びたAの字は、保護者、地域の方々と関わり合いながら、さらなる高みをめざしていく生徒の姿を表現している。

校歌

北海道旭川高等支援学校校歌

作詞 長谷 弘之
作曲 越 智 道 子

- 1 大雪の 峰に昇る朝日
我らを照らし 道を示す
さあ 歩きだそう あの頂目指し
険しい道も 前を向いて
愛を育む 人になろう
- 2 石狩の 水面光輝く
滔々と流れ 我らを洗う
さあ 漕ぎだそう 遙か大海原へ
厳しい道も 明日を信じて
夢に大きな 橋を架けよう
- 3 北の大地 豊かに実りゆく
故郷優し 希望を与う
さあ 飛び立とう 聖園なる母校から
遠い道も 笑顔絶やさず
大空に羽ばたく 鳥のように